

見てわかる!

あなたの身近に、

男女共同参画



ねえねえ、お父さん。
「だんじょきょうどうさんかく」
って、どういうこと?



それはね...

札幌市

「男女共同参画」ってなあに？

「男女共同参画」というのは、男も女も性別に関係なく、自分の意思でいろんなことに取り組んだり、物事の決定に携わったりすることだよ。



えっ、そんなの当たり前のことじゃないの？
学校でも「男女平等」って習ったよ。

1

そうだね、「男女平等」の考え方は当然のことだね。でも、今の社会には、「男女平等」ではない場面がまだまだたくさんあるといわれているんだ。



へえ〜。
それは、どうしてかな？

2

「男は仕事、女は家事・育児」
などという考え方が
社会に根強く残っているかららしいよ。



ふーん…。
性別だけで決めつけるって、
なんだか変な感じだね。

3

この際だから、
自分たちの生活の中の
男女共同参画について、
振り返ってみようか。



そうだね、
まずは身近なところを
確認してみよう！

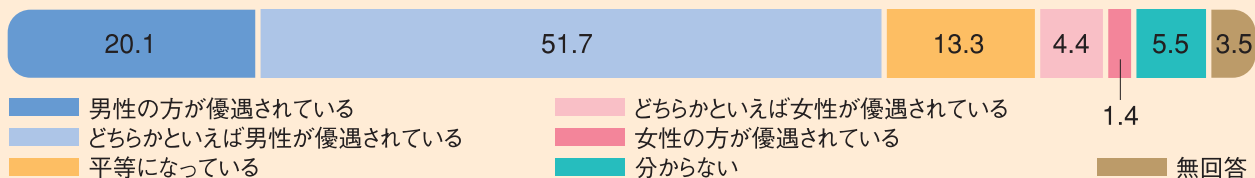
4

このパンフレットでは、男女共同参画に関する市民の皆さんの意識や、皆さんの身近な生活の中にある男女共同参画の具体的な事例を紹介しています。これらを参考に、自分や家族、職場や学校などのことを思い浮かべながら、「男女共同参画」について考えてみましょう！

「男女共同参画」に関する札幌市民の意識

男女の平等感について（社会全体で）

（平成18年度市民意識調査）



「男性は仕事、女性は家事や育児」という考え方について

（平成18年度市民意識調査）



平成18年度の男女共同参画に関する市民意識調査では、社会全体で「男性が優遇」「どちらかといえば男性が優遇」という人が、合わせて71.8%に上り、「平等になっている」と考える人はわずか13.3%に過ぎません。また、「男性は仕事、女性は家事や育児」という考え方については、賛成が48.9%、反対が39.3%となっています。

解説

「男女共同参画」とは、男性も女性もお互いを認め合い、協力し合いながら、それぞれの個性と能力を發揮し、性別に関係なく自分の意思でさまざまな活動の計画段階から加わることやその利益を等しく受けることができ、その責任を共に持つことをいいます。また、そのような社会のことを「男女共同参画社会」といいます。

日本国憲法では個人の尊重と両性の本質的平等が定められており、その他法令や制度等でも男女平等がうたわれています。しかしながら、現在の社会では、男女平等は当然であるはずなのに、実際の生活の中でそう感じていない人が多く存在しています。その一つの要因として、「ジェンダー」の存在とそれに基づく「固定的な性別役割分担意識」が、私たちの社会に根強く残っていることが考えられます。

ジェンダー（Gender）とは、生物学的な性差をセックス（Sex）というのに対し、文化的・社会的につくられ

た性差をいいます。文化的・社会的につくられた性差とは、その性から想起される「女らしさ」「男らしさ」といったさまざまな特徴のことです。ジェンダーは、それ自体が良い、悪いという価値観で判断されるものではなく、また、社会や時代の移り変わりに応じてさまざまに変化するものです。しかし、ジェンダーにとらわれすぎると、固定的な性別役割分担意識が生じ、個人が持つ能力の發揮を妨げたり、人権侵害の背景となったりなど、さまざまな問題が生じる場合があります。「男性は仕事、女性は家事や育児」といった考え方も、ジェンダー観に基づく「固定的な性別役割分担意識」の一つの表れです。性別で社会生活上のさまざまな役割を分けることがすべて問題である、とはいえませんが、合理性・必然性のない役割分担により、個人の自由を妨げ、社会の利益を損なう場合は是正することが必要です。

家庭の中での男女共同参画

◎ 家事は家族みんなの仕事



毎日の食事の支度や洗濯、掃除などの家事は、私たちの生活に欠かせない仕事です。一人ひとりができることをしながら、家族みんなで協力し合うと、きっと快適に過ごせます。



◎ 子育てはお互いが協力し合うもの



子育ては男女が共に責任を持ち、協力して取り組むもの。ミルクをあげたり、おむつを替えたり、一緒に遊んだりなど、子どもと触れ合うひときは、家族みんなにとってかけがえのない時間です。

◎介護はみんなの支え合い

「介護は女性の役割」といった考えは、固定的な性別役割分担の意識*の一つです。介護も男女が共に協力し合いながら取り組むことができます。

※固定的な性別役割分担意識
男女を問わず個人の能力等によって役割の分担を決めることが適当であるにもかかわらず、男性、女性という性別を理由として、役割を固定的に分けることをいいます。「男性は仕事・女性は家庭」、「男性は主要な業務・女性は補助的業務」等は固定的な考え方により、男性・女性の役割を決めている例です。



職場の中での男女共同参画

◎働く男女は対等なパートナー

企画・計画やその実施・実行、結果の評価など、それぞれの過程に男女が共に加わることが重要です。職場においても男女は、対等で大切なパートナーなのです。

